

被爆71周年原水禁世界大会・長崎大会成功に向け 動員にのべ17人が参加、疲れさまでした

被爆71周年原水禁世界大会・長崎大会の成功にむけ、7月28日の大会資料の封筒詰め作業から始まった各種動員にのべ17人の方に参加して頂きました。参加していただいた方は大変お疲れさまでした。



【爆心地公園にゴールする平和行進、5日】

【7月28日・大会資料の封筒詰め作業（米満、宅嶋）、8月3日「平和行進・大村」（川崎、岩崎）、5日・「平和行進・長崎」（米満、午後田中）、6日・各県代表団の受け入れ・案内（工藤、荒木）、7日・開会総会の業務要員（上之濱、宅嶋、俵坂）、8日・分科会「平和と軍縮1」（山田、豊田）、「平和と軍縮2」（今村、森）、「ヒバクシャ2」（秀島、北村）】

国鉄の先輩を忘れない

第44回 国鉄原爆死没者慰霊式

第44回国鉄原爆死没者慰霊式が9日、35度を超える猛暑の中、長崎市浦上駅構内の慰霊碑前で執り行われた。組合員、関係者、遺族など約80人が列席した。

黙とうの後、碑文「てんをうつな」を長崎大学ロマンツアー合唱団の松本萌子さんが独唱。

慰霊式実行委員長の岩崎等長崎地区本部委員長は、献身的な救援活動に携わった国鉄の先輩を忘れてはけないと挨拶した。

国鉄労働組合原爆被爆者対策協議会を代表して唐澤武臣国労本部書記長とJR九州長崎支社の堤和信副支社長が追悼の言葉を述べ、中村法道長崎県知事と田上富久長崎市長のメッセージが披露された。この後、全員で献花を行った。新たに3名の方の御霊の合祀は遺族との話し合いの末来年に持ち越された。



【碑文を独唱する松本さん】

【追悼の言葉を述べる唐澤中央本部書記長】